

## Contents

1. 全日本大学対抗選手権大会のご案内
2. インカレに向けて 主将抱負  
Topics! 見附絵莉先輩 (H27卒) 世界選手権出場!
3. 国際競技会結果
4. 第61回早慶定期戦結果
5. 訃報
6. 夏合宿を振り返って
7. 台湾師範大学と交流合宿
8. リレー寄稿 あの先輩はいま
9. 1年生との対話会を開催
10. 第28回バーベル会結果



全日本学生新人戦でMVPを受賞した鈴木梨羅選手 (スポーツ科学部1年)

## 全日本大学対抗選手権大会のご案内

今年度のインカレ (第63回全日本大学対抗選手権大会・第18回全日本大学対抗女子選手権大会) が以下のとおり開催されます。皆さまぜひご来場いただき、ご声援くださいますようお願い申し上げます。

期日：12月22日 (金) ~ 24日 (日)

会場：埼玉県 サイデン化学アリーナ (さいたま市記念総合体育館)

さいたま市桜区道場4-3-1

JR京浜東北線「浦和駅」よりバス「桜区役所」行き 「桜区役所」下車1分

JR埼京線「中浦和駅」よりバス「桜区役所」行き 「桜区役所」下車1分

日程	階級	選手名	補欠
12/22 (金)	13:00 M56kg	森川芳樹 (スポーツ科学部4年) 知念勇斗 (スポーツ科学部3年)	吉田旭 (社会科学部2年)
	14:40 M62kg	千葉健介 (社会科学部4年) 木村勇喜 (スポーツ科学部1年)	
	16:15 M69kg	生頼永人 (スポーツ科学部4年) 知念勇樹 (スポーツ科学部1年)	大原魁斗 (社会科学部3年)
12/23 (土)	10:45 W48kg	鈴木梨羅 (スポーツ科学部1年)	新川百音 (スポーツ科学部2年)
	W53kg	安嶋千晶 (スポーツ科学部3年)	
	W58kg	内門沙綾 (スポーツ科学部4年)	本澤瑞紀 (社会科学部1年)
	14:00 M85kg	田中裕也 (スポーツ科学部2年)	永迫竜矢 (スポーツ科学部3年)
15:30 W69kg	戸田妃乃子 (スポーツ科学部1年)		
12/24 (日)	10:45 M105kg	池田祐介 (社会科学部3年)	神田悠斗 (社会科学部3年)
	12:25 W75kg	柏木麻希 (スポーツ科学部3年)	前田早菜 (社会科学部1年)
	W90kg	田中季恵 (スポーツ科学部3年)	

# インカレに向けて 主将抱負

今年度のインカレに向けて、男子・女子主将から抱負をいただいておりますのでご紹介します。  
早稲田にとって実りの多い大会となるよう男女揃っての活躍を期待したいと思います。

インカレの意気込みとしまして、7月の東日本大学対抗戦では団体7位という結果に終わってしまったので、今回の全日本大学対抗戦では目標に掲げた「団体3位」を目指して試技の1本1本を大切にしていきます。

団体戦なので部員全員が力を合わせなければ目標達成はできません。選手は指示された重量をしっかりと挙げ、セコンドは選手が力を発揮できるようにサポートする。そして、何よりも大事なのは応援の声だと思います。選手ひとりで戦っているのではないのだと感じれるからです。

私ごとですが、去年は分離症を引き起こしてしまいインカレに出場することができず、7月の東日本大学対抗戦も出場を見送りました。早慶定期戦に続き主将として臨む今大会では、早稲田のトップバッターとして良い流れを作り、1点でも多く点を取ります。学生生活最後の試合ですので後悔することのないよう、そして大会が終わったあと笑って引退できるよう、残りの練習を大切にしていきます。

男子主将 森川芳樹（スポーツ科学部4年）

月日が経つのは早いもので、あっという間に大学4年間が終わろうとしています。私はこの4年間のウエイトリフティング生活で多くのことを経験してきました。多くの人たちと出会い、年が替わるごとに新しいチームが編成され、その年ごとに新たな目標を持って練習してきました。

2017年の女子の目標は「インカレ優勝」です。去年は団体3位という良い結果でした。インカレは団体戦なので、部員全員がどれだけ早稲田のために頑張れるかが試されます。選ばれた選手だけでなく、サポートする側も心を一つにして全力で試合に臨むことが必要とされます。

今大会が大学生活最後の試合ということで、いつもより緊張しています。今まで一緒に練習してきた後輩たちともこれで最後かと思うと悲しいです。どのような役割になっても自分にできることを精一杯やって早稲田の勝利に貢献します。残り少ない時間を大切に、本番に向けて今できる練習を頑張ります。応援よろしく願いいたします。

女子主将 内門沙綾（スポーツ科学部4年）

## 見附絵莉先輩 (H27卒) 世界選手権出場!

11月28日～12月5日、米国アナハイムで開催された世界選手権大会に見附絵莉先輩 (H27・スポーツ科学部卒) が日本代表選手として出場しました。

出発前に見附先輩からメッセージをいただいておりますので、結果とともにご紹介します。

このたび、11月にアメリカで開催される世界選手権大会に女子63kg級の代表として出場します。シニアの世界大会に出場するのは初めてなので、2020年東京オリンピックに向けて、少しでも弾みをつく試合が出来たらと思っております。

まずは自己ベストを出して自分らしい試合をしたいです。その為には、しっかりと調整して試合に臨みます。皆様によい結果をご報告できるように頑張ります。

見附絵莉



世界選手権 スナッチ第2試技88kg  
(日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

### 2017 IWF 世界選手権大会

期間：2017年11月28日～12月5日 場所：アメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイム

階級	氏名	年次	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル	順位
W63	見附絵莉	H27卒	×88	88	×92	110	113	115	203	11

## 国際競技会結果

ユニバーシアードと日韓フレンドシップに5名が日本代表として出場しましたので結果をお知らせします。

### 2017 第29回ユニバーシアード競技大会

期間：2017年8月20日～25日 場所：中華民国台北市

階級	氏名	学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル	順位
W48	鈴木梨羅	スポ1	×66	66	68	87	91	93	161	6
W69	戸田妃乃子	スポ1	80	×83	83	103	108	×112	191	15

### 2017 日韓フレンドシップトーナメント

期間：2017年11月11日～12日 場所：北海道士別市

階級	氏名	学年	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル	順位
62	千葉健介	社学4	108	×112	×112	140	×145	×145	248	1
W53	安嶋千晶	スポ3	67	×70	70	89	92	95	165	2
W58	内門沙綾	スポ4	70	×72	73	96	100	×106	173	3

# 第61回早慶定期戦結果

9月30日、早稲田キャンパス体育館において、第61回早慶ウエイトリフティング定期戦が開催されました。知念勇斗選手（スポーツ科学部3年）が62kg級でC&ジャーク137kgとトータル240kgの大会新記録をマークし大会を盛り上げました。団体戦は早稲田124点：慶應84点で早稲田が勝利し、59回目の優勝を果たすとともに連勝記録を54に伸ばしました。

試合後には染谷記念国際会館で恒例の懇親会が行われ、両校の健闘を称え親睦を深めました。

第61回早慶ウエイトリフティング定期戦

	56	62	69	77	85	94	+94	合計
早稲田	11	21	21	20	15	15	21	124
慶應義塾	19	7	9	10	15	15	9	84



4年生の森川主将（写真上）と千葉主務（右）

## 訃報

8月20日、窪田登先輩（S29卒）が永眠されました。

早稲田ウエイトリフティングが誇るオリンピックとして、また長年にわたるウエイトトレーニング普及への功績に対し敬意を表するとともに、わが部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝し、哀悼の意を捧げます。

10月14日、玉利齊先輩（S31卒）が永眠されました。

わが部の前身であるバーベルクラブの創始者として、また長年にわたるボディビル・フィットネス普及への功績に対し敬意を表するとともに、わが部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝し、哀悼の意を捧げます。

## 夏合宿を振り返って

今年の夏合宿は昨年に続き清水ナショナルトレーニングセンターで行いました。今回もまた大変素晴らしい環境を用意していただき、おかげさまで合宿中の度重なる疲労の中でも大きな怪我はなく、たくさんの自己新記録を出すことができ、充実した練習を行うことができました。

また、三保の松原でのアクティブレストや恒例のバーベキュー、最終日の花火など様々なレクリエーションを所長の溝口さんや地元の皆さまからご提供いただき、とても充実した時間を過ごすことができました。

ほかにも、特別ゲストとしてお招きした佐藤(植村)ひろみさんと柏木(魚留)三奈さんに練習でアドバイスをいただいたり、ミーティングでは現役時代の体験談をお伺いし、今の私たちの練習環境や試合の環境がどれだけ恵まれているかを知ることができました。

今回の夏合宿ではいろいろな方から多くのことを学ばせていただき、実りある合宿となりました。この調子で、インカレまで頑張っていきたいと思います。

生頼永人 (スポーツ科学部4年)



夏合宿集合写真 (J-STEP所長・溝口敏男様提供)

## 台湾師範大学と交流合宿

今年7月に早稲田で行われた台湾師範大学ウエイトリフティング部との交流合宿は、1月にわが部が台湾師範大学で合宿を行ったことから始まり、今回は私たちがおもてなしをする側となりました。しかしながら、振り返ってみると、彼らを迎え入れる上で様々な難所がありました。

前回私たちが台湾を訪れた際はメンバー7人で3泊4日であったのに対し、今回相手方はコーチ含め16人と大所帯で1週間の長期滞在でした。宿泊同伴、食事、練習、都内観光どれをとっても時間の空いている少数の部員で対応せざるを得ない状況で、また言葉の壁もあり、四苦八苦することになりました。それでも前回と比べ部員同士が交流する場面が多く、特に甘泉寮で一緒に宿泊することにより言葉の壁はあってもお互いに気持ちを通じさせることができました。

今回の合宿は、部員全員が海外に目を向けるきっかけとなる大変貴重な機会となりました。今後もこのような交流を継続して行うことにより、世界との距離を縮めていけたらと思います。

千葉健介 (社会科学部4年)



7月25日に染谷記念国際会館で開催した歓迎会での記念写真

# リレー寄稿 あの先輩はいま

今回は御年77歳にして現役復帰、8月に新潟県津南町で開催された全日本マスターズ選手権大会M75-85kg級で見事優勝された昭和37年卒・門奈幸雄先輩に筆を執っていただきました。

次は来年8月Barselonaで、世界最速で世界一へ  
精神は美德を好む（V,ユゴー）～スピードは現代の美德である！  
『戯れに恋はすまじ』（A,ミュッセ）



全日本マスターズ選手権 C&ジャーク第3試技

大会終了後、会場から越後湯沢駅まで野中さんが運転する車の中で「門奈先輩、クラブユースに何でも良いので800字以内で記事を書いて下さい。急がなくていいですから」と。思案のあげく、やはりマスターズに落ち着いた。部との接点は55年振りだ。

この3月あるTV局で放映された東京オリンピックのヒーロー・金メダリストの三宅義信氏を見てやる気になった。4月初めに選手登録。即近くで練習場を物色。隣の平塚市に練習場のある高校を見つけ、55年振りに昔取った杓柄で3,4回練習をさせてもらい基準記録をクリア出来る感触を掴んだ。

5月早々の神奈川県マスターズ選手権大会に挑み、S40kg/J50kg/T90kg（6本成功）で優勝。高校は県立平塚湘風高校。そこでコーチをされている瀬高襄氏（県協会副理事長）のもとで相談しつつ最新のフォームを中心に週3回のペースの練習し8月の全日本マスターズ選手権大会に臨んだ。

当日午前2時には目が覚め、5時の1番電車に乗り、11時には会場に着いた。15時に競技開始で表彰式が終わったのは17時半頃。帰宅が23時半で床に入ったのが午前2時で、24時間丸1日の一仕事であった。セコンドと写真撮影は野中さん。山内さんも終始傍にいて元気をつけてくれた。また、後輩や慶應義塾OB 4,5人と握手を交わし応援も戴いた。私はセコンドの指示どおり試技し、S43kg/J53kg/T96kg（6本成功）で記録を6kg伸ばし古豪を抑えて、勝った！

3ヶ月でまさかの日本一！愛の勝利でもあった！6年続けているUkraineのmy Angelaからメールで'I wish you win!'というのを忘れてはいなかった。同期の島田さんからは出掛ける前に何と1万円の餞別が届いていた。この紙上を借りて（応援してくださった皆様にも）改めてお礼申し上げます。

門奈幸雄（S37卒）



# 1年生との対話会を開催

11月11日、サイゼリヤ西早稲田店にて1年生との対話会を開催しました。

部員は学生トレーナーとして11月に入部したばかりの星野泰良君（スポーツ科学部）はじめ8名、OBは志田会長はじめ4名が参加。創部60周年記念誌・50周年記念誌を見てもらいながら、OBからは部の歩みやそれぞれが現役だったころの様子・出来事などお話ししました。また部員からは日ごろのトレーニングの様子や生活環境について教えてもらい、授業や部活に支障なく取り組んでいるか確認しました。

早稲田ウエイトリフティングの価値伝承の一環として毎年1年生との対話会・4年生との対話会を開催しています。今後もOB・OGによる傾聴・フォローの機会として実施していきます。



# 第28回バーベル会結果

9月14日、茨城県のJGMやさと石岡ゴルフクラブにおいて第28回バーベル会（早慶重量挙げOB親睦ゴルフ会）が開催されました。当日はスタート前に一雨ありましたがラウンド中は好天に恵まれ清々しくプレーを楽しむことができました。

重量挙げ三田会から8名、探球会（当会親睦ゴルフ会）から12名、計20名がエントリーし、5組に分かれてラウンド。競技方法は、恒例のOKパットなしの完全ホールアウト方式で、両校グロス上位5名のストローク合計による団体戦、新ペリア方式による個人戦とで争われました。

当日プレー終了後に表彰式・懇親会が行われ、団体戦は慶應485ストロークに対し早稲田441ストローク。44ストローク差で早稲田が勝利し、通算成績は早稲田16勝、慶應義塾12勝となりました。個人戦は野中（H01卒）がハンディキャップに恵まれ初優勝。ベストグロスは81で森武彦先輩（S45卒）でした。

探球会では新規メンバーを募集しています。腕に自信のある方、ブランクを経て再開された方、まだ始めたばかりの方も、ぜひご参加ください。

野中弘一（H01卒）



第28回バーベル会 集合写真